

2022年1月5日

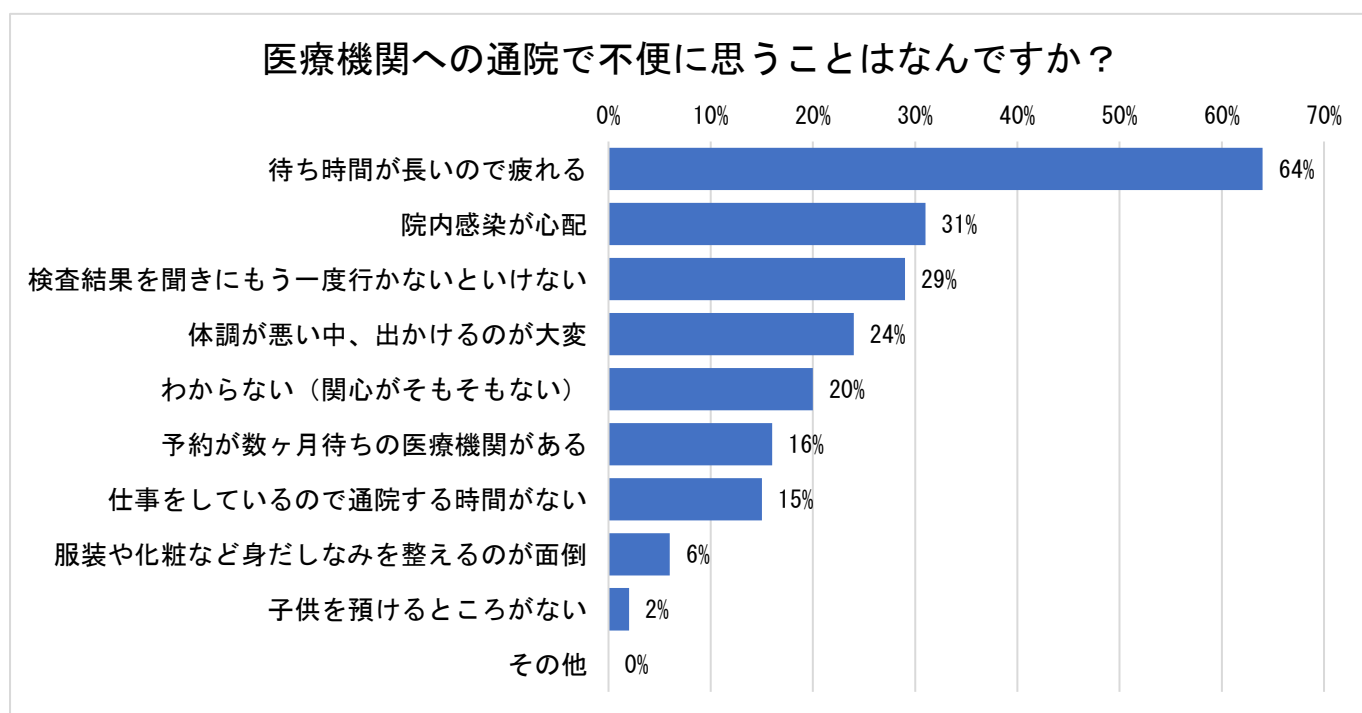
株式会社オンラインドクター.com

最新版「オンライン診療 意識調査②」 コロナ禍以降もオンライン診療を望む理由とは？

現役医師が代表を務める株式会社オンラインドクター.com（本社：東京都品川区、代表取締役：鈴木 幹啓）は、全国の20～60代の一般の方100人を対象に「オンライン診療に関する調査」を2021年12月に実施しました。

毎年1月頃にインフルエンザが流行する傾向にあることから、普段通院のない方でも病院に行く機会が増えるタイミングでもあります。そこで、通院の際に不便に思っていることなどを調査しました。

1 そもそも通院する際に一般の方が何を不便に思っているのか（20～60代の一般の方100名／複数回答）



医療機関への通院で不便に感じていることとしては、6割以上の方が「待ち時間が長いので疲れる」という回答でしたが、新型コロナウイルス感染への不安から3割に人から「院内感染が心配」という声がありました。

「体調が悪い中、出かけるのが大変」「身だしなみを整えるのが面倒」など病院に出かけること自体を億劫に思っている方もいることから、オンライン診療が実現すれば、自宅で部屋着のままで受診が可能ですので、このあたりの課題は解決できると考えています。

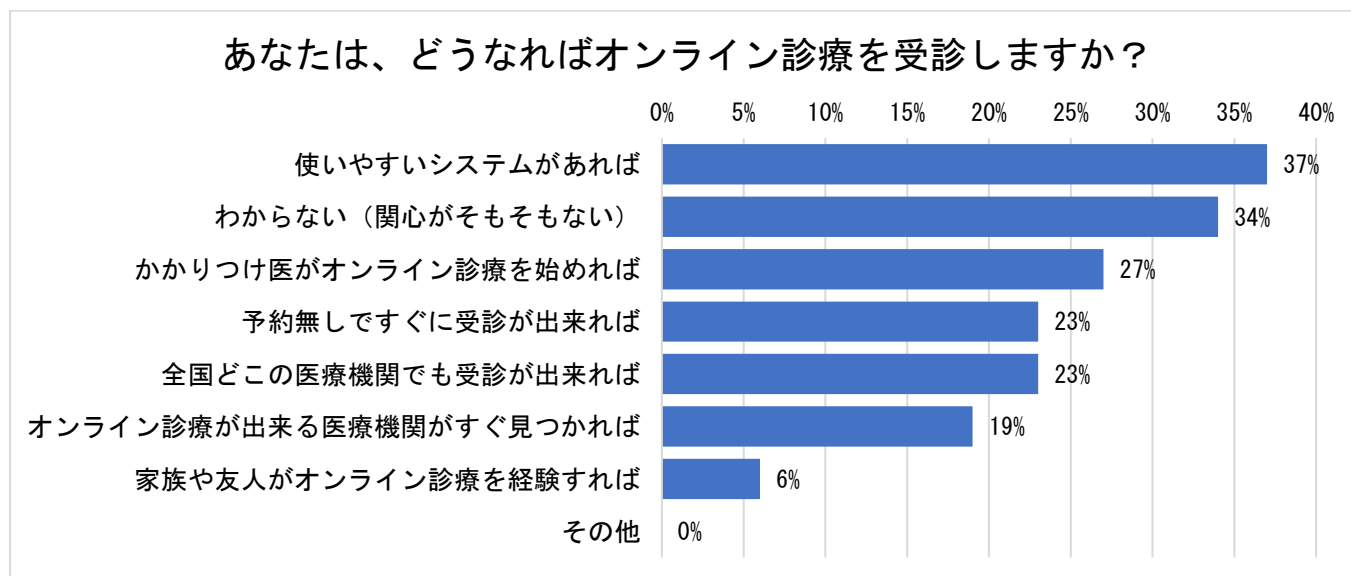
窓口担当 柴山（070-1389-0172） 24時間対応いたします

E-mail: pr@netamoto.co.jp

2022年1月5日

株式会社オンラインドクター.com

2 便性が高まれば「オンライン診療を受診する」という患者の声（20~60代の一般の方100名／複数回答）



一般の方を対象に「どうなればオンライン診療を受診するか」を聞いた結果、「わからない（関心がない）」と回答した34%の人以外、66%の人は何かしら変わることによって、オンライン診療を受診すると回答しています。かかりつけ医のオンライン診療導入を希望する声や予約無しで受診が可能になれば受診したいという声から、オンライン診療に関するシステム導入が進み、操作性、利便性が高まれば利用が増えることが予測されます。

コロナの影響でオンライン診療を実施するクリニックは増えてきましたが厚生労働省によると、2021年4月時点で初診からオンライン診療に対応できるクリニックは全体の6.5%にとどまっています。

今後、医師に対する医療報酬の見直しなどもされる予定であることから、当社は今後、オンライン診療を始めるクリニックの増加や、利用する患者様も増えると考えています。

<調査概要>

調査名：オンライン診療に関する調査

調査対象：20~60代の一般の方100人

調査方法：インターネット調査

調査期間：2021年12月7日~9日

■ 会社概要

企業名：株式会社オンラインドクター.com

代表者：代表取締役 鈴木幹啓

本社所在地：東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟

代表 TEL：03-6717-4176

窓口担当 柴山（070-1389-0172） 24時間対応いたします

E-mail：pr@netamoto.co.jp